



▶福岡県大牟田市

世界文化遺産「三池炭鉱」を世界に発信する

大牟田市は、福岡県の最南に位置し、平成9年に閉山した三池炭鉱とその関連産業で発展してきたまちです。閉山後もまちに残った多くの近代化産業遺産として、坑口から港まで石炭を輸送した炭鉱電車がありますが、これまで厳しい財政状況から、常設展示が出来ませんでした。

平成27年に三池炭鉱関連資産が、世界文化遺産に登録されたことを契機に、炭鉱電車を移設・展示することとし、その費用をふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより募集する

こととしました。

また、移設・展示が実現した後も寄附者とともに、実際に訪れてもらえるよう、炭鉱電車運転席の見学ができる硬券切符をお送りし、寄附者の氏名入り真鍮製記念銘板を枕木に設置しました。



移設前の炭鉱電車



寄附者の氏名が刻まれる真鍮製記念銘板。
デザイン、製作は職員自らが行った

注力した点や工夫した点

寄附者に対しては、募集サイトで取組の進捗状況や車両移設作業の様を生配信するなど、ふるさと納税した後も興味を持っていただけるよう取り組みました。

Check

取組の効果

多くの方にふるさと納税していただいた結果、目標額に到達し、車両4両を移設するとともに、展示用の上屋を新築することができました。

世界遺産登録から約2年半を経て、来訪者が減少する中、移設先である三川坑跡の来場者数は、ご自分の記念銘板を探しに来られたり、硬券切符を持参して運転席の見学をされる方も含め、1年間の来場者数が移設前後で約1.5倍に増加しました。

炭鉱電車を活かした地元での様々なイベント開催や商品開発等の積極的な取組も来場者数増加の要因です。



移設・展示された炭鉱電車



炭鉱電車は子どもたちにも大人気

寄附者の声

・いまは大牟田から遠く離れた地に暮らしていますが、展示が実現したら必ず帰郷します。硬券を携えて。

住民の声

・車輪の滑り止めの砂を活用した受験合格祈願グッズ「スベラナキス」が開発されるなど、保存活用の機運がさらに高まっています。